**あなたの一粒の麦とはどんなもの？**

韓国の103人の聖人の中には、韓国人として初めて司祭となった金大健（キム・デゴン）神父様がいます。その聖人は司祭として、ただ、1年間司牧していましたが、突然、逮捕されて殉教の冠をお受けになりました。それで、聖金大健神父様は「血の殉教者」と呼ばれ、韓国の司祭たちの守護の聖人として尊敬されています。

さて、韓国人として二番目に司祭となった人は崔良業（チェ・ヤンオブ）神父様です。彼は金大健神父様と一緒に、中国のマカオという所の神学校で勉強しましたが、金大健神父様より4年の後の1849年に司祭になりました。それから、崔良業神父様はすぐ帰国して、11年6か月間、毎年129ヶ所の信仰共同体を訪れながら一生懸命に司牧しました。その間、崔神父様は司祭としての聖務を果たすことは勿論、ほとんどが文盲人であった信者さんたちにハングル（韓国の文字）を教えたり、当時の厳しい身分制度に反して信者さんたちに神様の同じ子供という平等意識を植えてあげたりしました。残念ですが崔神父様は1861年、過労や腸チフスなどの病気で亡くなられました。享年40歳。崔神父様は殉教者でもないし聖人でもありません。でも、韓国では「汗の殉教者」と呼ばれ、特に、司祭達の模範として金大健神父様とは別に尊敬されています。

もう、9月になりました。この9月は「殉教者の月」と呼ばれ、信者の皆さんが、自分の信仰と神様の愛による救いの御業を証しすることに努めるように勧められています。実は、私達信仰のある人々にとって一番重要な任務は、自分の生活の中で、思い、言葉、行いを通して神様の愛を表し、神様の国をこの世の中から実現することなのです。しかし、そうする為には私自身を捨てて、イエス様に従おうとする覚悟が必要です。それは、自分を滅ぼすようなことで、イエス様はそれに対して、「一粒の麦が地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」とおっしゃいました。私はそれが殉教の意味だと思います。私達はそれぞれの生活の現場に落ちて、自分ではなく神様の為の実を結ぶ一粒の麦なのです。

私達に先立って、血や汗の麦として実を結んだ多くの人々がいました。それだけではなく、慰めの麦、涙の麦、平和の麦、励ましの麦、助け合いの麦、愛の麦、忍耐の麦、寛容の麦などの色々な麦があります。それらが死ねば、多くの実が結ばれるでしょう。では、あなたの一粒の麦とはどんなものですか。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　主任司祭　ヤコブ　姜　真求

**あなたののとはどんなもの？**

のののには、としてとなった金大健（キム・デゴン）がいます。そのはとして、ただ、していましたが、、されてのをになりました。それで、聖金大健は「の」と、のたちののとしてされています。

さて、としてにとなったは崔良業（チェ・ヤンオブ）です。は金大健とに、のマカオというのでしましたが、金大健よりののにになりました。それから、崔良業はすぐして、か、ヶのをながらにしました。その、崔はとしてのをことは、ほとんどがであったさんたちにハングル（の）をたり、のにさんたちにのというをあげたりしました。ですが崔は、やチフスなどのでくなられました。。崔はでもないしでもありません。でも、では「の」とばれ、に、のとして金大健とはにされています。

もう、になりました。このは「の」と、のさんが、のとのによるのをすることにようにられています。、のあるにとってなは、のので、、、をのを、のをこのからすることなのです。しかし、そうするにはをてて、イエスにとするがです。それは、をぼすようなことで、イエスはそれにして、「のがにちてなければ、のままである。だが、ねば、のを。」とおっしゃいました。はそれがのだといます。はそれぞれののにちて、ではなくののをのなのです。

に、やのとしてをのがいました。それだけではなく、の、の、の、の、の、の、の、のなどのながあります。それらがねば、のがでしょう。では、あなたののとはどんなものですか。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　主任司祭　ヤコブ　姜　真求